

CONTENTS

- 345 IPSJ Digital Courier への道のりと期待 益田隆司
Journey toward IPSJ Digital Courier and Expectation to the Future Takashi MASUDA (The Univ. of Electro-Communications)
- 347 創立 45 周年記念特別寄稿：情報という言葉を探ねて (1) 小野厚夫
Search for Japanese Term 'joho' in Actual Use (1) Atsuo ONO (Otemae Univ.)

特集
Special Features

21 世紀卓越した情報研究拠点プログラムの目指す研究 (前編)

The Current Status of the Art of the 21st COE Programs in the Information Sciences Field (1)

- 352 編集にあたって 土井美和子
Foreword Miwako DOI (Toshiba Corp.)
- 354 1. ユビキタス知識環境と知識メディア—知識メディアを基盤とする次世代 IT の研究— 田中 譲
Ubiquitous Knowledge Network Environment and Meme Media - Meme-Media Technology Approach to the R&D of Next-Generation Information Technologies - Yuzuru TANAKA (Hokkaido Univ.)
- 360 2. 情報科学技術戦略コア 武市正人・平木 敬・下山 勲・坂井修一・杉原厚吉・佐藤知正
Information Science and Technology Strategic Core Masato TAKEICHI, Kei HIRAKI, Isao SHIMOYAMA, Shuichi SAKAI, Kokichi SUGIHARA and Tomomasa SATO (The Univ. of Tokyo)
- 366 3. 情報通信技術に基づく未来社会基盤創生—コンピュータと通信技術により便利で安全な未来社会を築く— 河野隆二
Overview of Yokohama National University COE for Creation of Future Social Infrastructure Based on Information Telecommunication Technology Ryuji KOHNO (Yokohama National Univ.)
- 372 4. 社会情報基盤のための音声・映像の知的統合 末永康仁・間瀬健二
Intelligent Media Integration for Social Information Infrastructure Yasuhito SUENAGA and Kenji MASE (Nagoya Univ.)
- 379 5. 知識社会基盤構築のための情報学拠点形成 田中克己
Informatics Research Center for Development of Knowledge Society Infrastructure Katsumi TANAKA (Kyoto Univ.)
- 385 6. ネットワーク共生環境を築く情報技術の創出 西尾章治郎
New Information Technologies for Building a Networked Symbiotic Environment Shojiro NISHIO (Osaka Univ.)
- 391 7. ユビキタス統合メディアコンピューティング 千原國宏
Ubiquitous Networked Media Computing Kunihiro CHIHARA (Nara Institute of Science and Technology)
- 398 8. システム情報科学での社会基盤システム形成 安浦寛人・前田三男
Reconstruction of Social Infrastructure Related to Information Science and Electrical Engineering Hiroto YASUURA and Mitsuo MAEDA (Kyushu Univ.)
- 405 9. 電子社会の信頼性向上と情報セキュリティ 辻井重男
Reliability Improvement and Information Security in Electronic Society Shigeo TSUJII (Institute of Information Security / Chuo Univ.)
- 410 10.21 世紀 COE プロジェクト「プロダクティブ ICT アカデミア」
上田和紀・大石進一・甲藤二郎・中島達夫・村岡洋一・山名早人
Productive ICT Academia Project Kazunori UEDA, Shinichi OISHI, Jiro KATTO, Tatsuo NAKAJIMA, Yoichi MURAOKA and Hayato YAMANA (Waseda Univ.)

解説 Articles

- 431 ソフトウェアプロテクションの技術動向（前編）－ソフトウェア単体での耐タンパー化技術－
門田 暁人・Clark Thomborson
Recent Software Protection Techniques - Software-only Tamper Prevention - Akito MONDEN (Nara Institute of Science and Technology) and Clark THOMBORSON (The Univ. of Auckland)

連載 Series

- 417 組込みソフト産業の実態と開発の課題 組込みシステム開発の要素技術と標準化 高田 広章
The Reality and Challenges in the Embedded Software Business : Embedded System Development Technologies and Standardizations Hiroaki TAKADA (Nagoya Univ.)
- 423 Haskell プログラミング 関数プログラミングの妙味 和田 英一
Programming in Haskell : A Taste of Functional Programming Eiiti WADA (III Research Lab.)

コラム Columns

- 438 アメリカ IT まわりの話題 会社とブログ 湯浅 敬
IT Topics in the US : Companies and Blogs Kei YUASA (Hewlett-Packard Labs.)
- 440 日本の IT 事情 IP の狭間で想うこと 加藤 幹之
Information Technology in Japan : A Gorge between Two IPs Masanobu KATOH (Fujitsu Ltd.)
- 442 電子認証いまむかし PKI がきた道 櫻井 三子・木村 泰司
Electronic Authentication, Its Past and Present : The Footsteps of the PKI Mine SAKURAI (NEC Corp.) and Taiji KIMURA (Nara Institute of Science and Technology)
- 444 20 世紀の名著名論 Prominent Books and Articles in the 20th Century
P. H. Lindsay and D. A. Norman : Human Information Processing : An Introduction to Psychology 中溝 幸夫
P. H. Lindsay and D. A. Norman : Human Information Processing : An Introduction to Psychology Sachio NAKAMIZO (Kyushu Univ.)
- 445 20 世紀の名著名論 Prominent Books and Articles in the 20th Century
R. A. Fisher : The Design of Experiments 竹内 啓
R. A. Fisher : The Design of Experiments Kei TAKEUCHI (Meiji Gakuin Univ.)
- 446 情報技術と医療 何とアンバランスなマンマシンシステム 木村 通男
Healthcare : Man-Machine-System, Mosaic of Pre-Historic and Post-Modern Michio KIMURA (Hamamatsu Univ.)

委員会から Committee Reports

- 447 「情報システム論文」特集号の総括 神沼 靖子

会議レポート Conference Report

- 449 HPCA-11

その他

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| 451 著者紹介一覧 | 465 有料会告について |
| 452 おふいすらん | 468 会員皆様への「情報処理学会倫理綱領」遵守のお願い |
| 453 第 48 回通常総会の開催について | 469 情報処理学会著作権規程 |
| 454 会員の広場 | 470 アンケート用紙 |
| 456 IPSJ カレンダー | 471 編集室／次号予定目次 |
| 458 人材募集 | 472 掲載広告カタログ・資料請求用紙 |
| 462 有料会告 | |



編集系独白

本学会の設立は1960年4月で、今月で45年たったわけだ。もっとも45周年記念行事は来年3月の予定。学会誌はその7月に創刊され、記事の最初は高橋秀俊「電子計算機の将来」であった。45周年を機に小野厚夫の「情報という言葉を探ねて(1)」を掲載す(6月まで)。

特集は「21世紀卓越した情報研究拠点プログラムの目指す研究」で土井美和子がエディタ(5月へ続く)。世紀と大見えを張るなら100年かと思いきやたった5年で終わる。先の全国大会の特別セッションではポストCOEの予算調達がホットな話題だった。

「ソフトウェアプロテクションの技術動向(前編)ーソフトウェア単体での耐タンパー化技術」(門田暁人, Clark Thomborson)からプログラムは売られたし、中身は隠したしのプロテクタと、それに対抗するクラッカの丁々発止が見える。

プロムナードは「Haskellプログラミング」へ変身。まず和田英一による「関数プログラミングの妙味」の一席。IFIP WG 2.1の会合にいくと、全員がHaskell語をしゃべるので、いつのまにか郷に従ってしまっている。

情報技術と医療のコラム「何とアンバランスなマンマシンシステム」(木村通男)は電子カルテも医療システムも大変という話であった。1月のプログラミングシンポジウムでは、カルテの現状に業を煮やし、未踏プロジェクトを利用して(ペット用の)電子カルテの普及に1人で乗り出したというポスター発表があった(人間にも使えるそうです)。

昔は朱印、手形などのお墨付きが使われた。いま電子社会到来とともに電子認証の必要性が叫ばれている。現状はどうか。そこで櫻井三子、木村泰司による電子認証の連載を始める。今回は「PKIがきた道」だ。とにかく油断も隙も許されない環境になりつつある。

日本のIT事情は加藤幹之が「IPの狭間で想うこと」を書く。同じIPでもプロトコルと知的財産の各陣営は相手方を全然理解できていないという。本来のIP屋ももうひとつのIPの理解が否応なしに迫られているが。

先月も触れたイーグル村に「フィッシャー卿に献花」(bit Vol.13, No.4)があり、統計学と計算機技術は他の学問のためのものだから、広範な分野との連携が不可欠であった。そのFisherの実験計画法を、世界中で最もよく読んでいと自認する竹内啓が紹介した。1月にNormanの心理学を載せたばかりだが今月はそのNormanも著者の1人の認知科学の名著、人間の情報処理を中溝幸夫に書いて貰った。

なにに組み込まれるか分からないのが組込みシステムの宿命だ。使うプラットフォームも千差万別。組込み連載は「組込みシステム開発の要素技術と標準化」(高田広章)で、左様な多様な世界でも標準化の波が打ち寄せる。組込みソフトも専用から汎用になっているらしい。家中の電化製品に計算機能がつけば家庭内グリッドができる! その反動でPDAが発売中止になった?

アメリカITまわりの話題は「会社とブログ」(湯浅敬)。編集子もURLを教えられ、ブログを1,2回は読んだことがある。書く方も書く方だが、それをまたよく読む人もいと感心する。暇人だねえ。でもなにか新しい文化がうまれているのだろう。

最後に「『情報システム論文』特集号の総括」を神沼靖子書いている。論文をこれから書くという人は低採択率の反省はぜひ読んでおこう。(jrh)



会誌編集委員会

編集長

和田 英一

担当理事

田中 穂積

土井美和子

本号エディタ

天野 真家

片岡 欣夫

片山 博

菊田 泰代

坂井 修一

佐藤 慎一

前田 敦司

増井 俊之

丸山 宏

安信千津子

山崎 憲一

編集スタッフ

後路 啓子

松枝美香子

綿谷 亜樹

■ 46巻4号掲載広告目次 (五十音順)

インタフェース……………前付2
オーム社……………前付3
キャリアライズ……………前付最終上
サイエンス社……………前付5
情報処理学会創立45周年
記念DVD……………目次前
情報通信研究機構……………前付最終下

ソフト・リサーチ・センター ……前付4上
日本パーソナルコンピューター……………表2対向
培風館……………前付4下
ビジュアルテクノロジー……………表2
モバイル・コミュニケー
ション・ファンド……………表4
連続セミナー2005……………表3

*掲載広告のカタログ・資料をご希望の方は、お名前、電話番号、勤務先または学校名を明記の上、E-mailまたはFaxにてご請求ください。

広告総代理店 (株)精機通信社
E-mail:sei@ss-com.co.jp
Fax(03)3368-1519